

第101回リニアドライブ技術委員会議事録案

日時：平成18年9月29日(金)13:30～16:30

場所：JR東海品川ビルA棟 中会議室1

出席者：委員長 小豆澤（神戸大）

副委員長 北野（JR東海）

委員 伊藤（日立製作所），岩松（鉄道総研），海老原（東横女短大），荻田（JST），
坂井（安川電機），村本（東洋電機製造），増澤（茨城大），矢野（産総研）

幹事 村井（JR東海）

幹事補佐 鳥居（武蔵工業大）

オブザーバ 平田（大阪大），森下（東芝）

提出資料

- 101-1 第100回リニアドライブ技術委員会議事録案（鳥居幹事補佐）
- 101-2 リニアドライブ技術委員会名簿（鳥居幹事補佐）
- 101-3 平成18年度リニアドライブ技術委員会活動報告（小豆澤委員長）
- 101-4 D部門技術報告の発行・売上状況表（小豆澤委員長）
- 101-5 リニアドライブ研究会（矢野委員）
- 101-6 半導体電力変換／リニアドライブ合同研究会（村井幹事）
- 101-7 SEAD19 第19回「電磁力関連のダイナミクス」シンポジウム(案)（小豆澤委員長）
- 101-8 平成18・19年度リニアドライブ関連各委員会予定一覧（鳥居幹事補佐）
- 101-9 LD技術委員会傘下の各委員会の資料提出スケジュール（案）（真田幹事補佐）
- 101-10 平成19年度（H19年4月～H20年3月）活動計画（一次案）（小豆澤委員長）
- 101-11 LDIA2007 - Linear Drives and Industrial Applications（小豆澤委員長）
- 101-12 磁気支持応用機器の高機能化協同研究委員会解散報告書（小豆澤委員長）
- 101-13 磁気支持応用における電気・機械システム融合化技術調査専門委員会設置趣意書（小豆澤委員長）
- 101-14 新世代の電気・磁気アクチュエータ調査専門委員会設置趣意書（小豆澤委員長）
- 101-15 産業用リニア電磁駆動システムの要素技術調査専門委員会解散報告書(0次案)（鳥居幹事補佐）
- 101-16 産業用リニア駆動システムにおける要素技術の体系化（仮称）調査専門委員会設置趣意書(0次案)（鳥居幹事補佐）
- 101-17 産業用リニア電磁駆動システムの要素技術調査専門委員会（MEL）活動報告（鳥居幹事補佐）
- 101-18 磁気支持応用機器の高機能化協同研究委員会（MLV）活動報告（村井幹事）
- 101-19 多自由度モータのシステム化技術調査専門委員会（MDD）活動報告（矢野委員）
- 101-20 第7回産業用リニア電磁駆動システムの要素技術調査専門委員会議事録（鳥居幹事補佐）
- 101-21 第8回産業用リニア電磁駆動システムの要素技術調査専門委員会議事録（鳥居幹事補佐）
- 101-22 第2回多自由度モータのシステム化技術調査専門委員会議事録（矢野委員）
- 101-23 医用アクチュエーション技術の高度化に関する協同研究委員会設置趣意書（060929案）（増澤委員）
- 101-24 医用アクチュエーション技術に関する協同研究委員会（ECD）活動報告（増澤委員）
- 101-25 第5回医用アクチュエーション技術に関する協同研究委員会議事録（増澤委員）
- 101-26 第6回医用アクチュエーション技術に関する協同研究委員会議事録（増澤委員）

議事

1 議事録確認

資料101-1を用いて議事録の確認を行い、議事2.6「H17・18年度」を「H18・19年度」に訂正の後、承認された。

2. 報告事項

2.1 資料101-2を用いて、委員会名簿の確認が行われた。

2.2 D部門研究調査運営委は次週開催のため報告はない。資料101-3を用いて、小豆澤委員長より、今年度活動報告についての説明があった。技術報告の執筆状況についての確認が行われ、MLV委は協同研究委員会として12月のLD研究会で発表を行うことが紹介された。また、資料101-4について、傘下各委員会の技術報告も軒並み赤字であるが、あと数十部ずつ売れば、損益分岐点に達するとの

説明があった。

- 2.3 資料 101-5 を用いて、矢野委員より、10月のLD研究会の紹介があった。10/26～27に東京電機大学神田校舎で開催され、21件の発表がある。
- 2.4 資料 101-6 を用いて、森下氏より、12月のSPC/LD合同研究会の紹介があった。12/7～8に金沢大学で開催され、24件の発表がある。
- 2.5 資料 101-7 を用いて、小豆澤委員長より、来年の電磁力シンポの概要が報告された。5/16-18の3日間、オールセッション主体で開催されるが、今回よりオーサズインタビューを設ける。
- 2.6 資料 101-8 を用いて、H18・19年度予定を確認し、以下の修正があった。
 - (1) ECD委：10/26の開催予定を追加。
 - (2) 関連会合に 9/7-8 Electromotion2007, 9/13-15 ISEF2007(Prague, Czech), 9/中旬 LDIA2007(Lille, France)を追加。
- 2.7 資料 101-9 を用いて、資料提出スケジュールについての確認が行われた。

3. 審議事項

- 3.1 資料 101-10 を用いて、小豆澤委員長より、H19年度の活動報告1次案の説明があった。研究会の発表数減少対策についての議論があった。リニアの応用自体は活発であるため、企業に依頼して新技術を発表してもらうことが提案され、これに対して、研究会ではインセンティブがないので難しい、リニアそのものではなく計測・センサ・軸受・材料等のアピールの場として活用してもらうのが良い、等の意見があった。精密工学会のリニア関連の部門は積極的であるとの紹介があり、新規企画を含めた促進策を継続的に考えていくことが合意された。関連して、H19年電気学会全国大会のシンポジウム提案について、楡井氏に、旧LMD委での企画を打診することとした。また、H19年D部門大会のシンポジウムについては、ECD委またはMLV委で開催する方向で検討することとした。関連して新設委の略称を決めるよう平田氏に要請があった。
- 3.2 資料 101-11 を用いて、小豆澤委員長より、LDIA2007の開催日時についてのProf. Brochetからの照会があったとの報告があり、議論された。原提案は9/16-18か9/23-26であり、Prof. BoldeaからEPE直前の8月末という提案もあった。国内各機関の諸事情を鑑み、EUCAS(Brussels)と重なるが、日本としては9/16-18を推薦することとした。
- 3.3 資料 101-12,13,14 を用いて、小豆澤委員長より、MLV委の解散報告書と設置趣意書、新世代の電気・磁気アクチュエータ調専委設置趣意書が紹介された。メール審議済みの資料であり、来週の運営委員会に向けて、既に事前提出されている。
- 3.4 資料 101-15,16 を用いて、鳥居幹事補佐より、産業用リニア電磁駆動システムの要素技術調査専門委員会の解散報告書案、産業用リニア駆動システムにおける要素技術の体系化調査専門委員会の設置趣意書案が朗読され、審議された。次期委員会で「体系化」を謳うなら、技術報告及び解散報告書で「成功の秘訣」との表記は早すぎるとの指摘があった。次期委員会構成員についての質問があり、前委員会の追加委員と交替委員、及び現在オブザーバで参加している新規委員を中心にリストし、残りを追加委員とする予定であるとの回答があった。さらに、若干の字句修正が行われた。委員会に持ち帰って検討し、次回再度審議することとした。
- 3.5 資料 101-23 を用いて、増澤委員より、医用アクチュエーション技術の高度化に関する協同研究委員会の設置趣意書案が朗読され、審議された。体裁を新規所定の形にすること、目的にこれまでの経緯を加えることが要請された。調査項目が広範すぎないかとの指摘があり、実際には、応用に必要な性能の策定が残っているとの回答があった。より限定した内容の解散報告書と、それにつながる設置趣意書として欲しいとの要望がなされた。委員会に持ち帰って検討し、次回再度審議することとした。

4 各調査専門委員会活動報告

資料 101-17～101-22, 101-24～101-26 を用いて、各調査専門委員会からの活動報告があった。

5 その他

なし。

以上